

令和7年度 当初予算案の概要

令和7(2025)年1月30日

目次

当初予算(案)の概要 2

(1)令和7年度予算編成における主な取組	2
(2)予算規模	3
(3)歳入	5
(4)歳出	6

重点的に推進すべき優先度の高い施策 7

(1)防災対策の充実・強化	8
(2)子どもが健やかに成長できる環境づくり	10
(3)地域共生社会の実現	16
(4)地域の活性化や賑わいの醸成	26
*令和7年度イベント予定表	37
(5)サステナブルな社会をつくる	38
(6)その他主要課題の解決につながる施策	45
*令和7年4月開設施設	50

1 令和7年度予算編成における主な取組

(1)課題解決に向けた戦略的な施策の展開

「文の京」総合戦略に掲げる主要課題の解決に邁進するため、現場の視点を重視し、職員の創意と工夫により、効率的・効果的で質の高い行政サービスを提供するための予算を編成する。

(2)重点施策の実施

次に掲げる重点的に推進すべき優先度の高い施策を重点施策として展開する。

ア 主要課題の解決につながる施策

(ア)防災対策の充実・強化

(イ)子どもが健やかに成長できる環境づくり

(ウ)地域共生社会の実現

(エ)地域の活性化や賑わいの醸成

(オ)サステナブルな社会をつくる

イ 持続可能な行財政運営を推進する施策

ウ その他、区として重点的に推進する必要があると認められる施策

2 予算規模

○ 一般会計

前年度に比べ15.3%増、過去最大規模となる1,470億円

○ 国民健康保険特別会計

国民健康保険事業費納付金の減等により、前年度に比べ3.1%減の205億3,100万円

○ 介護保険特別会計

保険給付費の増等により、前年度に比べ0.9%増の180億6,500万円

○ 後期高齢者医療特別会計

広域連合納付金の増等により、前年度に比べ3.4%増の63億8,200万円

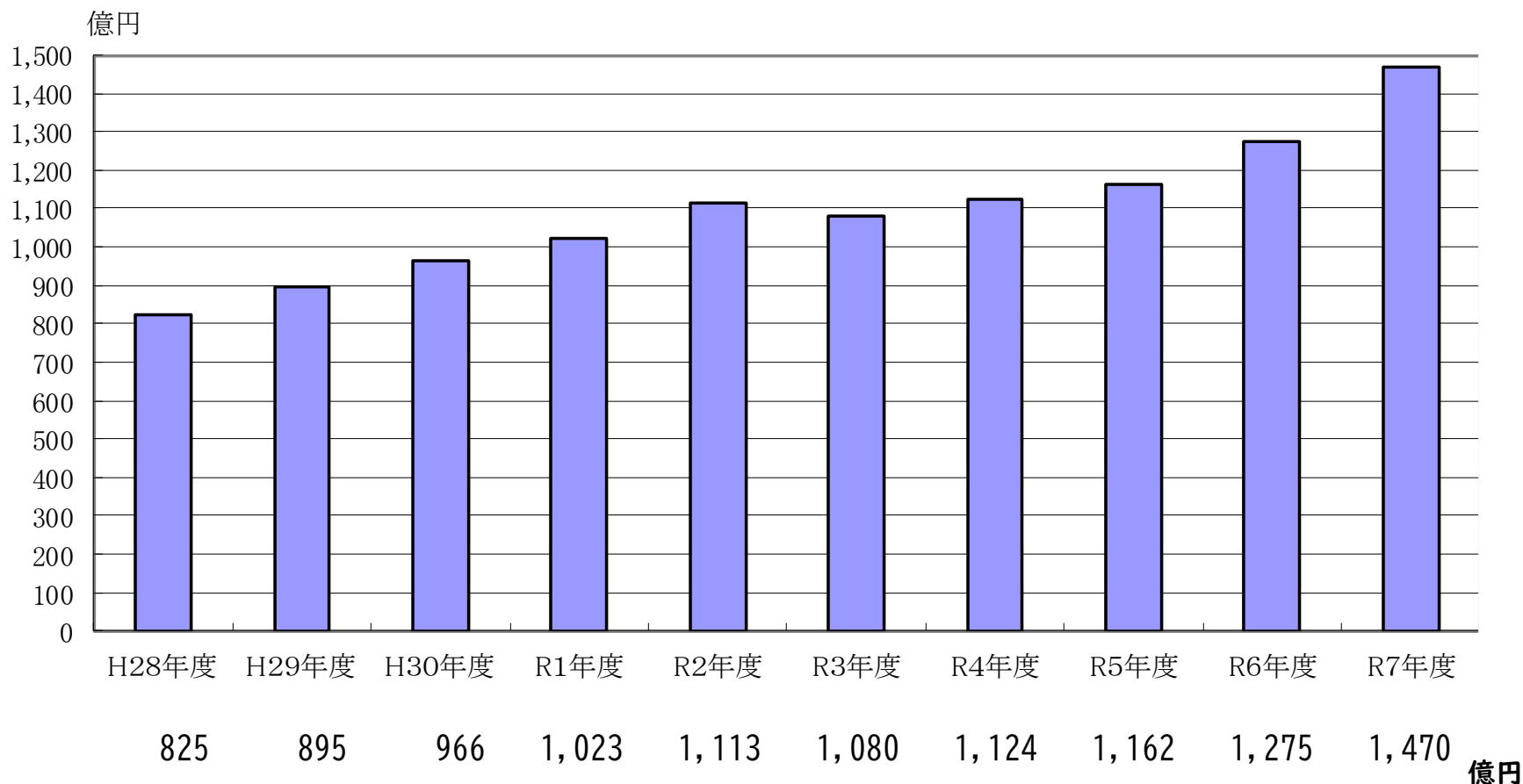
(単位：百万円、%)

会計名	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
一般会計	147,000	127,528	19,472	15.3
国民健康保険特別会計	20,531	21,191	△ 660	△ 3.1
介護保険特別会計	18,065	17,896	169	0.9
後期高齢者医療特別会計	6,382	6,175	207	3.4

※ 本資料において、各表及びグラフの予算額等は、原則として項目ごとに表示単位未満を四捨五入しており、表内計算が一致しない場合があります。

○ 予算規模の推移（一般会計当初予算）

令和7年度は、「文の京」総合戦略に掲げる主要課題の解決に邁進するため、過去最大規模の予算を編成



3 歳 入 (一般会計)

- 特別区税は、課税所得水準の堅調な推移及び納税義務者数の増加等により、前年度に比べ9.9%増の434億700万円
- 特別区交付金は、普通交付金の増収が見込まれることから、前年度に比べ20.4%増の277億円
- 歳入の不足を補填するため、財政調整基金繰入金は76億円
- 公共施設整備等を着実に実施するため、特定目的基金繰入金は112億7,400万円

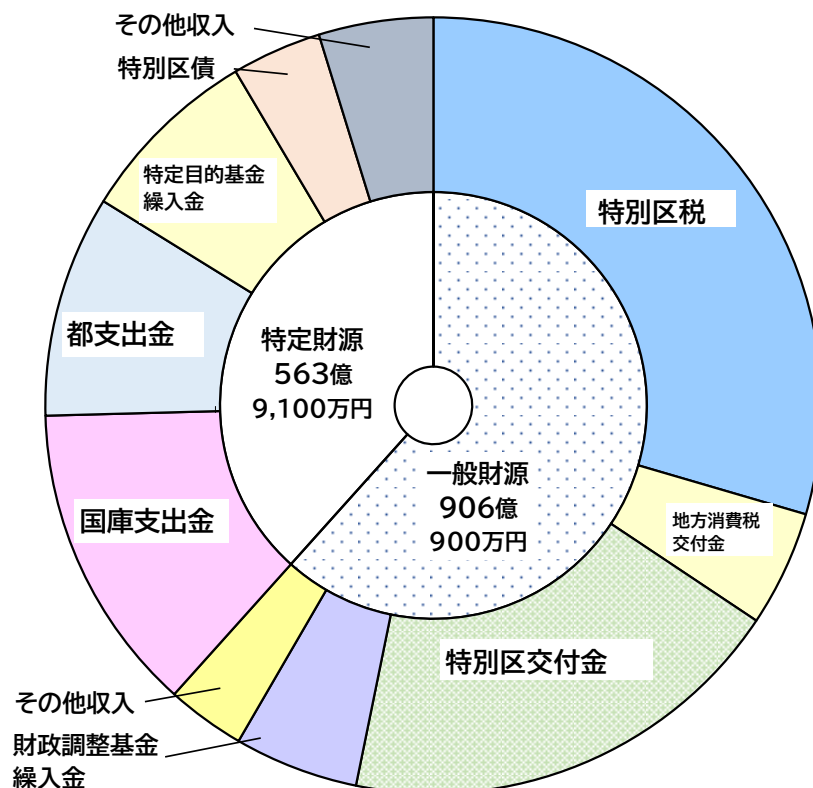
(単位:百万円、%)

区 分	予算額	構成比	増減率
一般財源	90,609	61.6	8.7
特定財源	56,391	38.4	27.6

【内訳】

一般財源	特別区税	43,407	29.5	9.9
	地方消費税交付金	7,100	4.8	4.4
	特別区交付金	27,700	18.8	20.4
	財政調整基金繰入金	7,600	5.2	△ 11.8
	その他収入	4,802	3.3	△ 11.6
特定財源	国庫支出金	19,022	12.9	32.0
	都支出金	13,587	9.3	31.6
	特定目的基金繰入金	11,274	7.7	25.2
	特別区債	5,500	3.7	22.2
	その他収入	7,009	4.8	18.2

合 計	147,000	100.0	15.3
-----	---------	-------	------

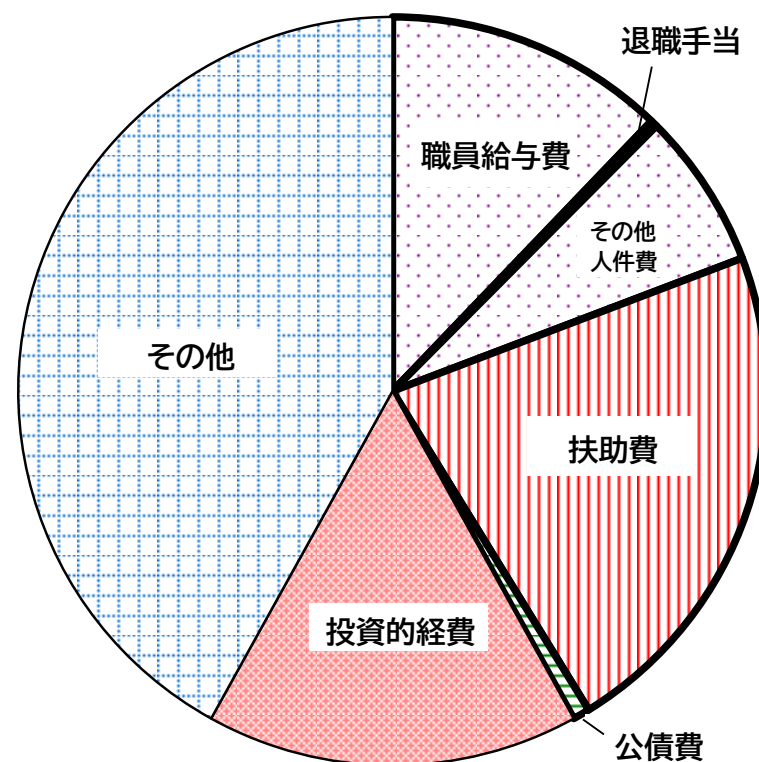


4 歳 出 (一般会計)

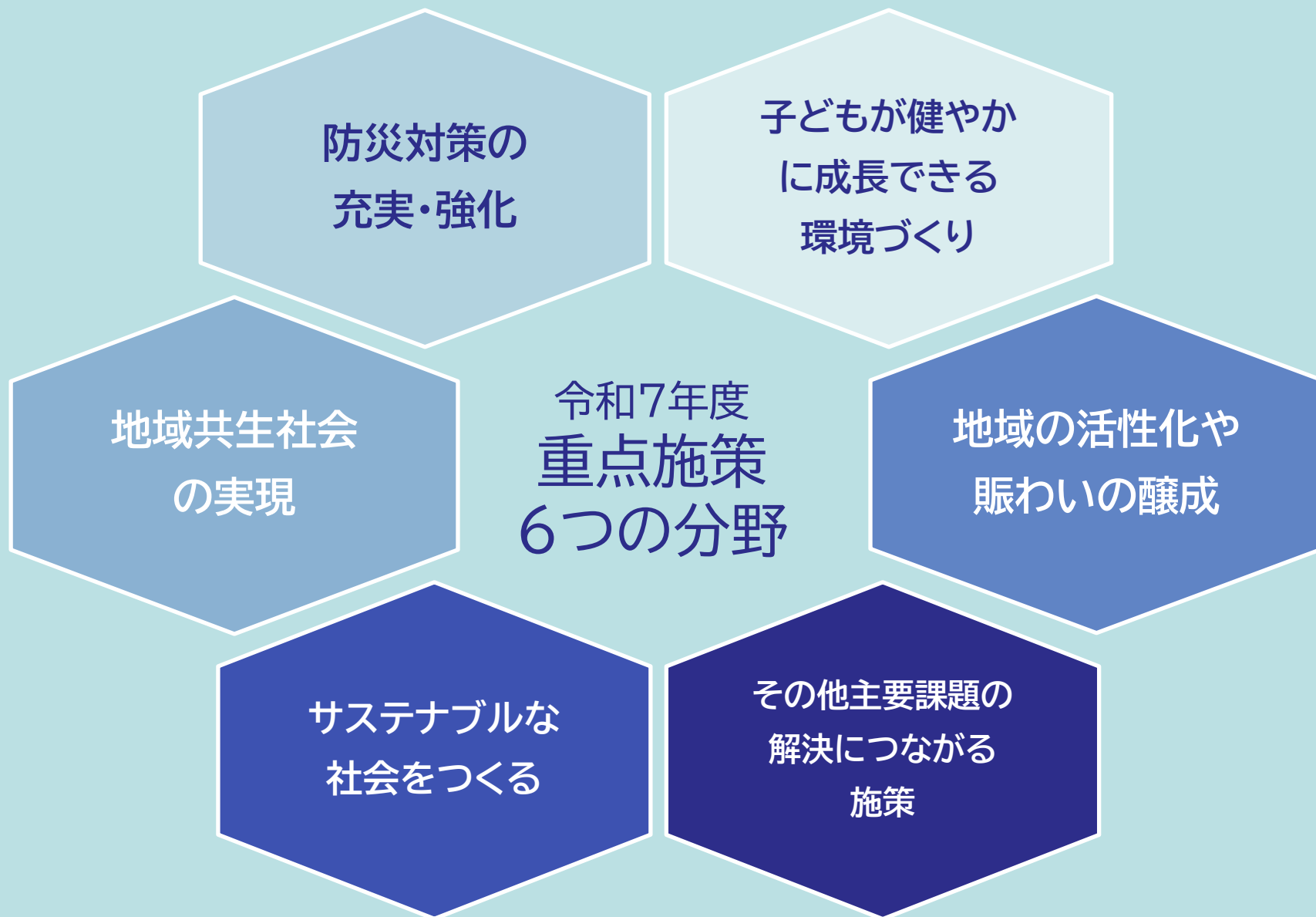
- 人件費は、職員給与費の増等により、前年度に比べ10.6%増の282億4,800万円
- 扶助費は、児童手当の増等により、前年度に比べ20.6%の増の323億3,900万円
- 投資的経費は、明化小学校の改築、小・中学校の特別教室改修の増等により、前年度に比べ17.5%増の236億7,000万円

(単位:百万円、%)

区 分	予算額	構成比	増減率
人件費	28,248	19.2	10.6
【内訳】 職員給与費	17,881	12.2	9.7
退職手当	441	0.3	△ 42.2
その他人件費	9,927	6.7	17.0
扶助費	32,339	22.0	20.6
公債費	1,081	0.8	68.4
投資的経費	23,670	16.1	17.5
その他	61,662	41.9	13.4
合 計	147,000	100.0	15.3



重点的に推進すべき優先度の高い施策



防災対策の充実・強化

区民一人ひとりの防災・救急救命に対する意識の向上と災害に強いまちの実現に向けた施策

レベルアップ

誰でも24時間利用できる自動体外式除細動器（AED）の設置

継 続

耐震化促進事業の推進

無電柱化整備事業



【1】誰でも24時間利用できる自動体外式除細動器(AED)の設置

予算額 12,870千円

区内全域で傷病者に対する一次救命処置の実施率向上を図るため、区民にとって身近な施設である区立小中学校の校門等に、誰でも24時間利用可能なAEDを設置します。

<設置予定>

校数 30校

時期 R7.9月頃

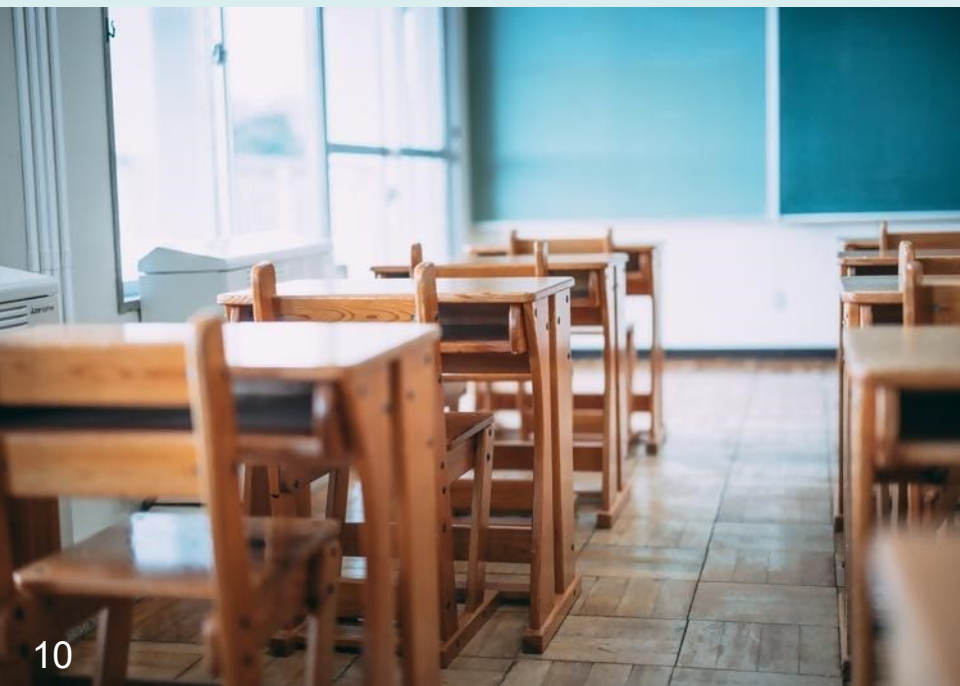
※区では、大手コンビニチェーンとの協定や中高層共同住宅に対するAED設置助成により、誰でも24時間利用できるAEDの設置を進めており、この取組により、更なる設置拡大を図ります。



防災課 齊藤 03-5803-1179

子どもが健やかに成長できる 環境づくり

子どもの自主性・社会性を育て、実りある成長を後押し、安心して子育てできる施策



新 規

中高生居場所事業

レベルアップ

文京区子どもの学習・生活支援事業

保育所賃借料等補助事業

育成室待機児童解消加速化プラン

子どもの学び支援事業（校内居場所（別室）対応指導員配置の拡充）

継 続

こどもの権利擁護を推進する体制の一層の強化

未就園児の定期的な預かり事業

子どもの学び支援事業（多様な担い手で紡ぐ個が輝く教育）

子どもの学び支援事業（スクールソーシャルワーカーの全校配置）

部活動の地域連携・地域移行推進事業

文京区平和特派員事業

学校給食費支援事業

校庭、屋上防水及び外壁・サッシ改修

給食室の整備

【2】文京区子どもの学習・生活支援事業

3地域共生社会の実現にも再掲

予算額 55,945千円

生活困窮世帯の抱える多様なニーズに応じた切れ目ない学習支援事業の体制構築に向けて、小中学生と高校生世代の学習支援事業を一本化することで、児童・生徒及び保護者と長期的に関わり家庭全体を支援していくとともに、生活に関する相談支援や進学・受験に関する情報提供、体験活動等の充実による総合的な支援により、子どもの将来の選択肢を広げ、貧困の連鎖の防止を図ります。

現行	支援内容	R7.4～
・小学4年生から中学3年生まで ・高校生世代まで ⇒2つの事業により実施		・小学4年生から高校生世代まで ⇒ <u>切れ目ない支援の実現</u>
高校生世代のみ対象 	進学や進路等の伴走型支援	中学1年生から高校生世代まで
	模擬試験受験料支援	中学3年生から高校生世代まで
	学習・生活に関する相談支援	全世代を対象
	様々な体験活動の実施	全世代を対象 

生活福祉課 渡部 03-5803-1215

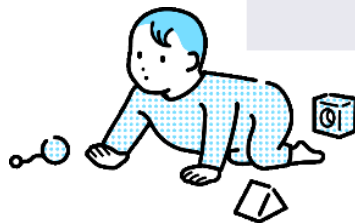
【3】 保育所賃借料等補助事業

予算額 929,772千円

適切な保育サービス量を維持し、希望する年齢で入園できる環境を整備するため、保育運営事業者に対し、運営経費の多くを占める建物の賃借料等を補助し、継続的な支援を行います。

職員体制の充実を補助要件とすることで、保育の質の向上に繋がります。

現行		R7.4～	
賃借料補助	開設後、最長10年目まで	【継続】 賃借料補助	開設後、最長10年目まで
		【NEW】 新たな賃借料等補助	職員の加配を条件に、開設時期に関わらず、賃借料及び維持管理費等を補助



幼児保育課 足立 03-5803-1857

【4】 育成室待機児童解消加速化プラン

予算額 477,027千円

民間賃貸物件を活用した育成室の整備や都型学童クラブの誘致促進により、早期の待機児童解消を目指すとともに、放課後全児童向け事業(アクティ)の充実等により、待機児童の家庭をサポートします。

プラン	拡充内容
①民間賃貸物件を活用した施設整備	・民間賃貸物件を活用し、育成室が必要な地域へ <u>重点的に</u> 整備 ・ <u>「小規模育成室(20人定員)」</u> の整備により、民間賃貸物件等の活用の幅を拡大
②都型学童クラブ施設整備費用補助の拡充	・開設時の整備費用に関する補助メニューを拡充
③待機児童に対するサポートの拡充	・児童館における <u>ランドセル来館事業の拡充</u> ・アクティの <u>時間延長</u> の順次拡大及び <u>見守りの質</u> の向上
④育成室における保育の質の向上	・ <u>地区内の巡回・相談業務を担うエリアマネージャーを順次配置</u> し、保育の質を向上



【5】 中高生居場所事業

予算額 3,415千円

インキュベーションオフィス「GROWTH文京飯田橋」に関連したスタートアップと連携して、中高生専用の居場所事業「AQUABASE(アクアベース)」を実施し、中高生の自主的な活動を応援します。

事業内容

運営日	水・金曜日 15時～19時 土曜日 13時～18時 ※年末年始は休室
対象	区内在住・在学・在勤の中高生世代
特徴	・Wi-Fi環境のある居場所は、最大30名が利用可能で、自習やゲームなどが自由にできる。 ・海洋生物に関する専門家が常駐しており、実験教室やワークショップ等を定期的に開催する。

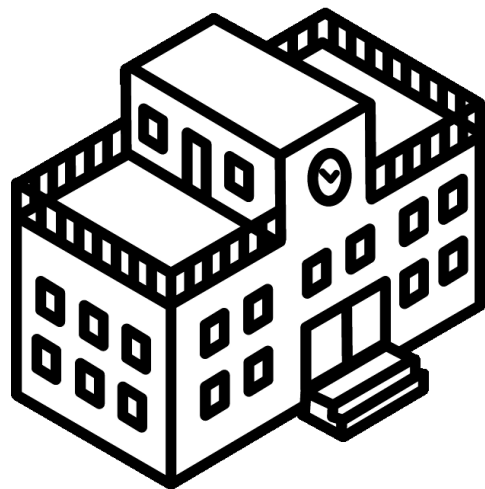


【6】 子どもの学び支援事業(校内居場所(別室)対応指導員配置の拡充)

予算額 104,059千円

校内の別室において学級に馴染めない児童・生徒の対応をする校内居場所(別室)対応指導員の配置を、14校から20校に拡大します。

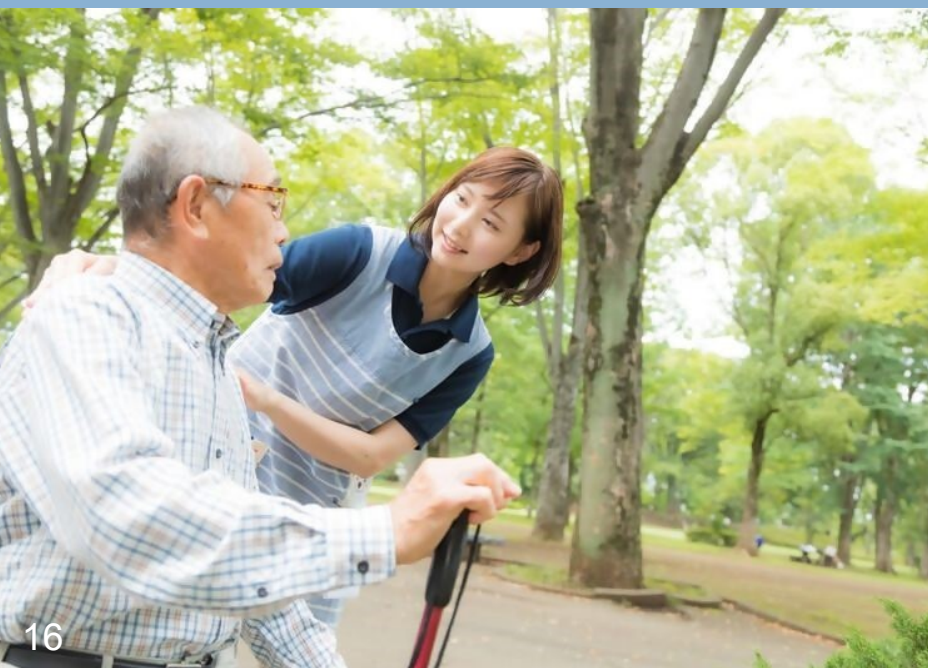
	現行	R7.4～
週5日(29時間)の指導員を配置		
小学校	8校	10校
中学校	6校	10校



教育センター 木口 03-5800-2591

地域共生社会の実現

区民一人ひとりが生きがいや役割を持ちつつ、支え合い、助け合いながら暮らせる施策



新 規

障害者文化芸術活動推進事業

重層的支援体制整備事業（ぶんきょうチームでまると支援）

手話言語による意思疎通支援事業

訪問系障害福祉サービス等事業所人材確保対策支援事業

看取りを見据えた在宅医療・介護連携推進事業
（区民のヘルスケア向上事業）

文京区健康アプリを用いた健康寿命延伸事業

レベルアップ

文京区子どもの学習・生活支援事業

「チームオレンジBunkyo」サポーターによる認知症に優しいまちづくり2.0
～「チームオレンジお助け隊」による啓発の促進～

認知症検診事業

介護人材の確保・定着促進事業

継 続

障害者(児)施設整備促進事業

予算額 1,825千円

区内障害者施設利用者が創作した絵画作品等の展示を通じて障害者への理解促進を図るとともに、講師派遣等により活動の支援を行うことで障害者による文化芸術活動のさらなる活性化を図ります。

1 障害者による芸術の周知・拡散

作品発表、鑑賞の場の提供	展示室を利用した展示企画の開催
展示会場で「観る」だけで終わらない、鑑賞の経験・興味の持続	展示作品をデザインに使用したグッズの配布
障害者芸術に対する理解の深化	有識者による鑑賞の楽しみ方や作品創作の背景などに関するギャラリートークの開催

2 区による創作サイドへの支援

創作活動の充実	絵画等講師の施設への派遣による、創作活動の支援
創作環境の整備	創作者を支援する職員向けの、作品の発表方法や創作支援に関する研修の実施

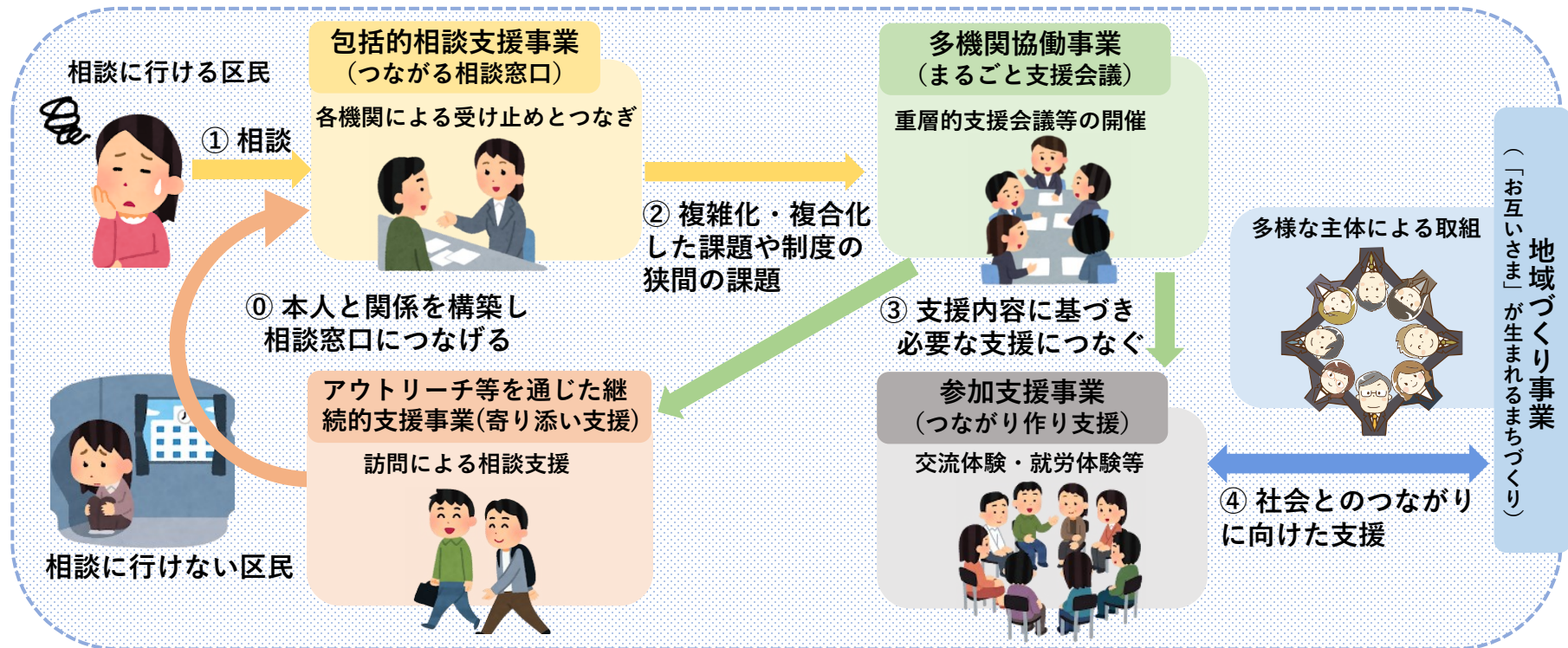


アカデミー推進課 川崎 03-5803-1307

【8】 重層的支援体制整備事業(ぶんきょうチームでまるごと支援)

予算額 824,392千円

支援が必要な方の状況に応じて各分野の機関が連携し、地域資源やネットワークを重ね合わせることで、孤立している人を取り残さない地域づくりを目指します。



【9】 手話言語による意思疎通支援事業

予算額 4,290千円

手話言語の使用を促進する環境の整備に向けて、手話を言語とする方が区の窓口や区有施設において、通訳者が同行できない場合でも手話を利用できるよう、スマートフォンやタブレットを活用した遠隔手話通訳システムを導入します。

手話通訳者の呼び出し方法

QRコードで呼び出し



タブレット端末で呼び出し



【10】 訪問系障害福祉サービス等事業所人材確保対策支援事業

予算額 5,242千円

障害福祉サービスを提供する居宅介護・重度訪問介護事業所における、ヘルパーを補助する人材の確保とヘルパーとして従事するための資格取得に向けた支援を行います。
(東京都補助の活用 ※移動支援事業所へのヘルパーを補助する人材確保への支援は区独自)

内容	
対象	区内訪問系障害福祉サービス等事業所(区内33事業所)
補助上限	【業務支援活用事業】 1,700(円/時間)×720(時間)=1,224,000(円/人) 法定福利費 対象者の人件費×15% 【人材確保支援事業】 83,000(円/人)
補助金負担割合	障害福祉サービス事業所 都:3/4、区:1/4
時期	令和7年4月以降申請予定

【11】 看取りを見据えた在宅医療・介護連携推進事業(区民のヘルスケア向上事業)

予算額 1,975千円

医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、区内大学との協働により、区民からのヘルスケアに関する相談を受け、健康やケアについて学べるプログラムを提供するとともに、区内で働く医療・介護専門職等の交流・研修機会を創設し、顔の見える連携体制を推進します。

東京大学グローバルナーシングリサーチセンターと連携して、3年間の強化期間に、次の3つの取組を推進

①区民のケアコンピテンシー※向上

区民が自発的に健康維持・増進について取り組むために必要な、ケアに関する知識と技術を獲得するための、ワークショップなどの啓発イベントを実施

②地域にある保健室を拠点とした地域づくり

区民の健康上の困りごとなどの相談対応と、各地域にある保健室等で生じている課題の共有や事例検討を行う意見交換会を実施

③区内医療・介護専門職の支援

区内で働く看護職・介護職等向けに、他職種の視点や役割の理解を深め、連携を発展させるための、看取りリスクプログラムを実施



※ケアコンピテンシー:自分自身や身近な人の健康の維持・増進に関するケアの知識や技術を獲得し、実践することができる複合的な力のこと。

高齢福祉課 木内 03-5803-1843

【12】「チームオレンジBunkyo」サポーターによる認知症に優しいまちづくり2.0

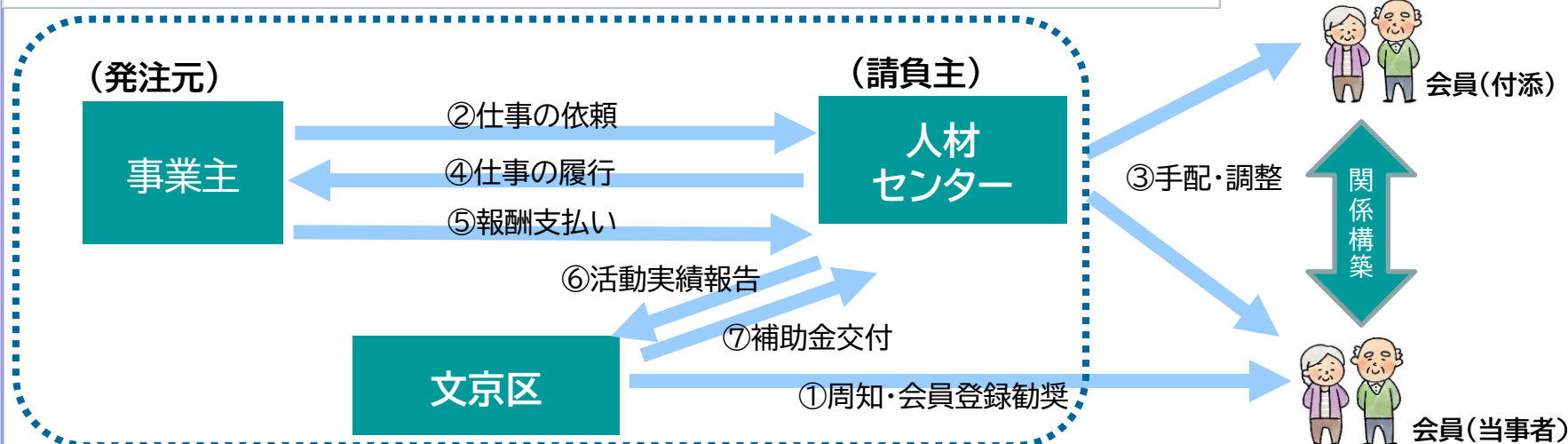
～「チームオレンジお助け隊」による啓発の促進～

予算額 2,090千円

認知症サポーターが中心になって行うチームオレンジ活動をさらに推進し、“認知症に優しいまち文京”を実現するため、認知症当事者とシルバー人材センター会員が「チームオレンジお助け隊」として行う就業活動を通じて、区民や区内企業に対し、チームオレンジの取組や認知症に優しいまちに係る取組の普及啓発、認知症への理解の促進を図ります。

【One Point !】

区・人材センター・事業主の三者でチームオレンジお助け隊活動(※)の連携協定の締結等

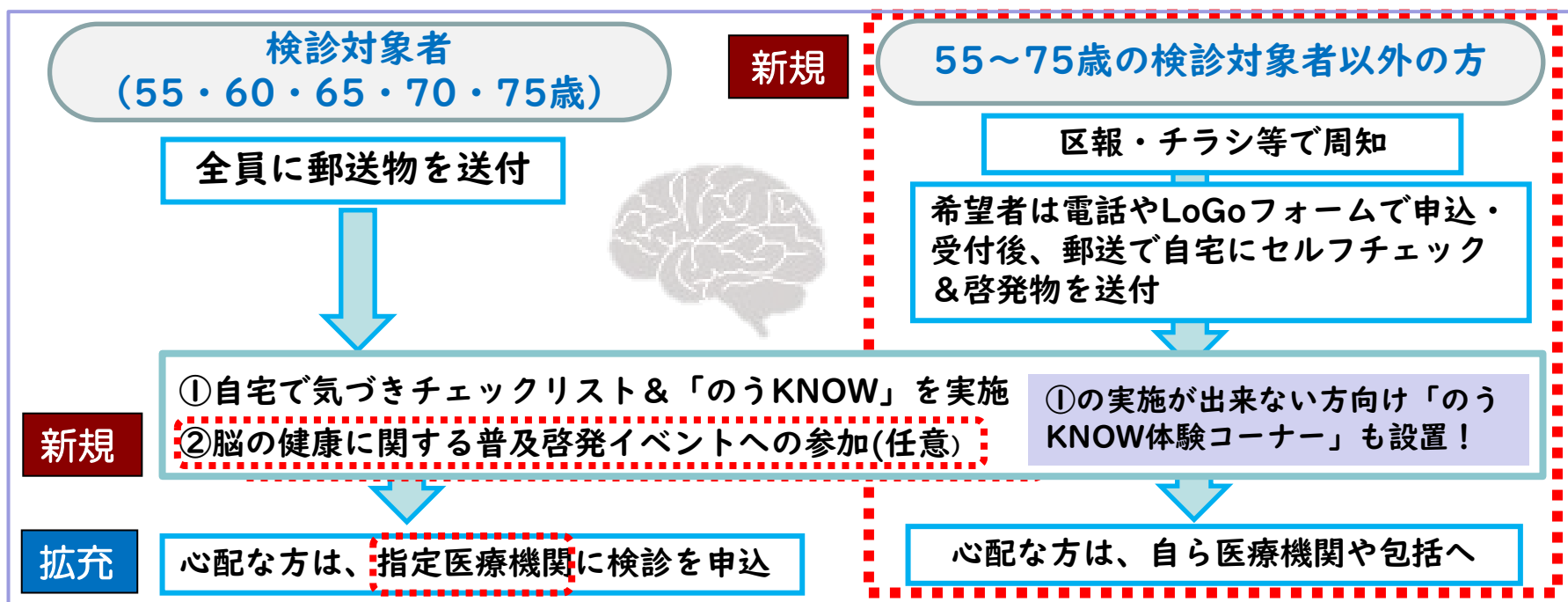


※通称「エルジョリコ(eljoreco)」:エルダー(elder:年長者・先輩)、ジョブ(job:仕事)、リコレクション(recollection:回想・記憶)を掛け合わせた造語

【13】 認知症検診事業

予算額 23,193千円

5歳ごとの節目検診として55歳以上を対象としている認知症検診事業について、検診の受診機会や「脳の健康度セルフチェック」の頻度を増やすため、集団会場型から指定医療機関型での実施に変更するとともに、検診対象年齢以外でも希望する区民にセルフチェックの機会を提供します。



【14】介護人材の確保・定着促進事業

予算額 58,353千円

区内の介護サービス事業所における更なる介護人材の確保・定着促進を図るため、介護施設従事職員住宅費補助の補助要件等を拡充します。

また、介護支援専門員等研修費用補助の対象経費として、介護支援員登録料及び介護支援員証発行手数料を新たに加えます。

1 文京区介護施設従事職員住宅費補助事業

- ・補助要件である事業所と居住地との距離を半径5kmから10kmに変更
- ・補助対象期間を通算8年から10年に変更

2 文京区介護支援専門員等研修費用補助事業

- ・補助対象に介護支援専門員登録料及び介護支援専門員証発行手数料を新たに追加
- ・対象者に地域包括支援センターにおいて介護予防ケアマネジメント業務を行っている看護師及び社会福祉士を新たに追加



介護保険課 佐々木 03-5803-1389

【15】 文京区健康アプリを用いた健康寿命延伸事業

予算額 10,542千円

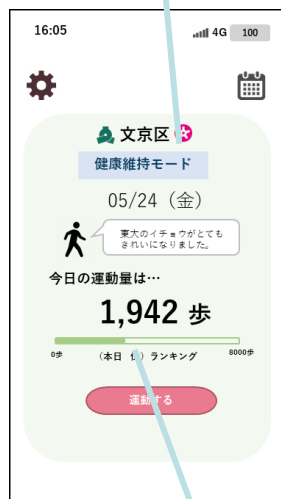
文京区健康アプリを用いて、すべての区民が身体活動量の向上及び運動習慣の定着を図り、生活習慣病の予防及び健康寿命の延伸を目指す取組を進めます。

1 文京区健康アプリの開発・運用

■誰でもすきま時間に、1日の推奨身体活動量を簡単に補えるパーソナルアプリ

ライフコースや
目的別にモード選択が可能

日常生活（通勤・家事・仕事等）では
不足の活動量を補う運動メニューを提案



・複数のモードを用意し、年代や運動習慣に限らず全ての区民が利用可能

- ①通常（8000歩相当）
- ②上級者向け（10000歩相当）
- ③妊婦向け
- ④子ども向け
- ⑤運動習慣定着プログラム（集合形式とオンライン講座を組み合わせた実施を検討）

・講演会や健康講座等を実施し、アプリの認知向上やインストール支援等を行う

（イメージ図）

誰でも簡単にウォーキングを習慣化

2 健康づくりイベント実施

■日常生活では体験できない健康機器測定や疾病予防について学ぶ機会を提供し、**区民体験参加型の健康づくりイベントを開催**



『知る』

- ◆姿勢チェック
- ◆自律神経チェック
- ◆体内糖化度測定
- ◆口腔乾燥テスト、かみ合わせテスト

『学ぶ』

- ◆生活習慣病予防講座（医師講義&栄養講義）
- ◆著名なゲストによるトークショー

『体験する』

- ◆カラダ改善プログラム体験
- ◆カラダ年齢チェック

地域の活性化や賑わいの醸成

地域経済や文化・観光の基盤を強化し、主体的な地域活動や文化的な学びの場を通じてコミュニティが存続できる施策



新 規

障害者文化芸術活動推進事業

事業承継総合支援事業

まもろう装飾灯“安全点検・応援プラン”

スタートアップ交流会

文京区・松坡区交流事業（松坡区区民ツアー）

レベルアップ

町会・自治会加入促進・担い手確保支援事業

～学びを、チカラに～ 中小企業人材強化支援事業補助

文京ソコチカラサイト－ver2.0－

競技かるた普及啓発事業

インバウンド来訪促進パッケージ

まつり持続化推進事業

継 続

文京区・バイオウル区友好都市提携10周年記念事業

【16】 町会・自治会加入促進・担い手確保支援事業

予算額 17,437千円

町会等への加入促進を支援するため、チラシやパンフレットの作成等、加入促進の取組に係る補助の新設や活動周知に資する講座を行います。

また、活動の担い手確保を支援するため、地域活動団体との連携事業への補助を継続するとともに、町会等運営マニュアル(役員向け)を作成します。

1 加入促進支援

・新築マンション事業者との加入促進協議 ・区HPでの町会等の紹介及びリンクの公開	継続
・町会・自治会PR支援等講座 ⇒ 395千円(2回)	拡充
・加入促進事業補助金 ⇒ 1,500千円(50千円×30町会等)	新規

2 担い手確保支援

・事業補助金における地域連携追加補助 ⇒15,300千円(100千円×153町会等)	継続
・「文京版町会・自治会運営マニュアル(役員向け)」 の作成 ⇒ 242千円	新規



区民課 榎戸 03-5803-1169

【17】 事業承継総合支援事業

予算額 8,497千円

中小企業存続による地域経済の活性化を図るため、事業承継セミナーの開催、設備投資補助の新設、融資あっせんの拡充を実施し、事業承継に係る支援を行います。

1 事業承継セミナー【新規】

中小企業者に対して、事業承継に必要な知識等を提供

件数 年2回(1,822千円)

2 小規模企業者事業承継設備投資補助【新規】

対象 ①中小企業基本法に規定する小規模企業者
②区内に本社があること
③10年以上区内で事業を営み、引き続き区内で事業を継続する意向がある事業者

補助率 2/3(上限:1,000千円)

件数 5件(5,550千円)
※事業承継計画書作成支援のための中小企業診断士派遣にかかる経費(550千円)を含む



3 事業承継資金融資あっせん【拡充】

融資
限度額 20,000千円
(運転・設備資金共通)

対象 事業承継を3年以内に予定
又は事業承継後5年未満

件数 15件、利子補給1.5%
(1,125千円)

【18】 ～学びを、チカラに～中小企業人材強化支援事業補助

予算額 3,000千円

区内中小企業が自社の従業員を対象としたリスキリングに取り組む場合の補助について、資格取得を伴わない講座等を補助対象に追加し、補助件数も拡充することで、企業のリスキリングによる自社人材の強化を支援します。

	現行	R7.4～
対象	専門的な資格取得を目的とする講座等の受講料及び資格・検定試験の受験料	①専門的な資格取得を目的とする講座等の受講料及び資格・検定試験の受験料 ②資格取得を伴わない講座等の受講料【追加】
補助率	1/2 上限額 100千円／1社	1/2 上限額 100千円／1社
件数	10件	30件【拡充】

【19】文京ソコヂカラ サイトーver2.0ー

予算額 12,408千円

個店及び商店街の活性化を促進し、地域経済の活力を高めるため、区内店舗情報発信のための既存のプラットフォームである「文京ソコヂカラ」サイトの機能を拡充し、情報発信の更なる強化を図ります。



	現行	追加(R7.4～)
掲載情報	写真、住所(マップ表記なし)、営業時間、定休日、メニュー、テイクアウト・デリバリー対応、キャッシュレス対応	住所(マップ表記対応)、店舗ウェブサイト・ECサイト・店舗SNSとの連携、交通手段、支払方法(キャッシュレス対応含)、平均予算、駐車場、特徴(バリアフリー対応、子連れ可、予約可、分煙/禁煙 等)、公式LINE配信動画 等
検索機能	エリア別、目的別(大分類4項目【食べる・飲む、買う 等】)、キーワード(店舗名のみ)	現在地からの検索、目的別(大分類→中分類に細分化)、ジャンル・特徴での検索



経済課 内宮 03-5803-1173

【20】 スタートアップ交流会

予算額 100千円

多様なスタートアップ、区内中小企業、大学等の教育機関及び金融機関等を対象とした交流会を、東京商工会議所文京支部と連携して実施します。

スタートアップ交流会

対象	スタートアップ、区内中小企業、大学等の教育機関、金融機関 等
内容	第1部 基調講演 第2部 交流会・名刺交換会
定員	70人程度
実施時期	令和7年12月(予定)



【21】 まもろう装飾灯“安全点検・応援プラン”

予算額 9,339千円

装飾灯の倒壊事故等を未然に防止するため、点検や修繕・撤去に係る費用の一部を補助し、商店街における装飾灯の適切な維持管理を支援します。

1 装飾灯点検費用に係る補助金【新設】

内容	専門事業者による装飾灯の安全点検費用
補助率	2／3(上限額:1基あたり9千円)
件数	20商店会(600基)程度

2 商店街環境整備事業補助金【拡充】

	現行	R7.4～
対象	装飾灯の新設等の費用	①装飾灯の新設等の費用 ②点検の結果、「早急に対応が必要」と評価された装飾灯の改修・撤去費用【追加】
補助率	1／2 (上限額:1事業8,000千円)	①1／2 (上限額:1事業8,000千円) ②2／3 (上限額:1基400千円かつ 1事業8,000千円)
件数	予算の範囲内	30基程度



【22】 競技かるた普及啓発事業

予算額 7,215千円

かるたを区の文化資源として位置付け、「かるたの街 文京」の発信を行います。
また、若年層の認知度向上に向けて、謎解きを組み合わせたイベントの実施や、区立児童福祉施設等へのかるた講師派遣及びかるた札等の配付を行います。

◆既存事業

- ・名人vsクイーン
ドリームマッチ
- ・文の京アゼリア・
カップ
- ・小中学校への
講師派遣
- ・区内で開催される
大会の共催・後援



◆レベルアップ

①「謎解き」×「かるた」体験イベント

導入

②児童館及び文京区青少年プラザ等への
かるた講師派遣・札、読み上げ機の配付

裾野

③SNSを使った周知活動

周知



かるたの街文京宣伝大使
みちざね公

【23】インバウンド来訪促進パッケージ

予算額 18,218千円

外国人旅行者を対象として、来訪前の情報発信力の強化及び来訪者の利便性・満足度の向上を図るため、観光PR動画の作成、多言語対応のデジタルマップ導入、肥後細川庭園での桜ライトアップ等のイベントを実施します。

主な事業内容(レベルアップ内容)

【旅マエの情報発信強化】観光PR動画の作成・活用

- ナイトライフ観光特設サイト等へ掲載
- 海外の姉妹都市や友好都市、国内の協定締結自治体等と連携して動画を広く周知



【旅ナカの利便性向上】デジタルマップの導入

- 区内の多彩な観光施設やコミュニティバス等の交通情報など、エリア全体の情報を一元化した多言語対応のデジタルマップを新たに導入
- ユーザーデータの取得・分析により、旅行者の実態・ニーズを把握



【区内観光の満足度向上】肥後細川庭園におけるイベント実施

- 桜の開花時期に合わせたライトアップ等のイベントを実施
- 周辺施設等と連携して相乗効果を生むとともに、肥後細川庭園ゆかりの自治体等の魅力発信



アカデミー推進課 堀越 03-5803-1174

【24】 文京区・松坡(ソンパ)区 交流事業(松坡区区民ツアー)

予算額 6,074千円

令和6年12月の姉妹都市提携を記念して、住民間交流に資する事業を実施します。

※姉妹都市松坡区と共同で実施

松坡区区民ツアーの実施

区民が外国において異文化に触れる機会を創出し、松坡区への理解を深めるプログラムを実施

日程

令和7年9月下旬(2泊3日)
* 漢城百済文化祭の日程に合わせて実施



アカデミー推進課 堀越 03-5803-1310

【25】 まつり持続化推進事業

予算額 11,770千円

まつりを通じた地域コミュニティの活性化を図るため、大学や企業等と連携した担い手の確保に繋がる経費の一部を補助し、まつりの持続化を支援します。

	主な内容(R7.4～)
対象のまつり	文京花の五大まつり(つつじまつり、あじさいまつり、菊まつり、梅まつり、さくらまつり)、文京朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつり
補助対象	・まつりの宣伝・広報や実施等に要する経費【既存分】 ・ <u>大学や企業等と連携した担い手の確保に繋がる経費【追加】</u>
補助額	・既存分:10,370千円 ・追加分: <u>1実行委員会あたり200千円を上限に追加助成</u>



アカデミー推進課 堀越 03-5803-1174

令和7年度イベント予定表



サステナブルな社会をつくる

地域一丸となって地球温暖化対策を推進し、区民一人ひとりの環境にやさしいライフスタイルへの転換を推進する施策



新 規

旧岩井学園グラウンド跡地における太陽光発電所設置事業

集合住宅共用部におけるLED照明器具の設置費助成
(新エネルギー・省エネルギー設備普及促進事業)

プラスチック分別回収事業

「ぶんきょう涼み処」へのボトルディスペンサー型水飲栓の設置事業

レベルアップ

文の京環境啓発加速化事業

区有施設への再生可能エネルギー電力の導入

【26】 旧岩井学園グラウンド跡地における太陽光発電所設置事業

予算額 3,039千円

再生可能エネルギーの利用を促進するため、オフサイトコーポレートPPAにより、旧岩井学園グラウンド跡地に太陽光発電所『文京ソーラーパワー・岩井』を設置し、発電した再生可能エネルギーを文京スポーツセンターに供給します。

オフサイトコーポレートPPAとは

■需要地ではない場所(オフサイト)で発電された再エネ電力を区が電力会社から購入する契約。

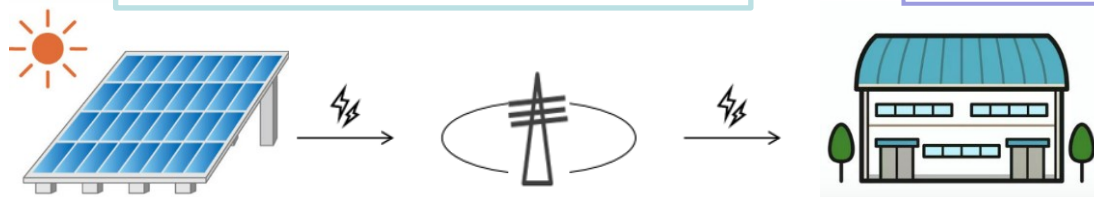
※オンサイト:電力供給先の建物の屋上などに太陽光パネル設置

【概要】※現時点での想定

土地面積:2898.76㎡

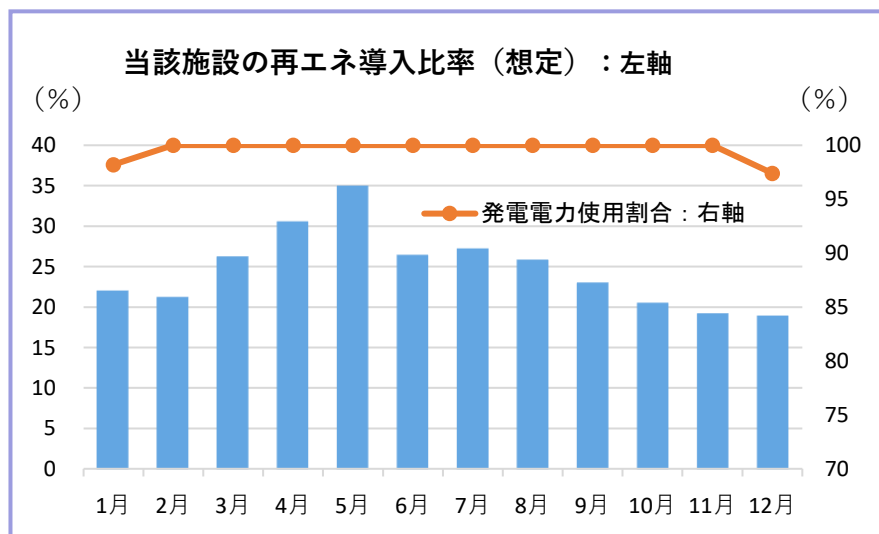
発電設備:292.64kw

年間発電電力量:344,867kwh



文京ソーラーパワー・岩井

文京スポーツセンター



【27】 集合住宅共用部におけるLED照明器具の設置費助成

(新エネルギー・省エネルギー設備普及促進事業)

予算額 24,000千円

脱炭素社会の実現に向け、既存の照明器具からLED照明器具への切り換えを促進するため、集合住宅共用部におけるLED照明器具の設置費助成を行います。

集合住宅共用部におけるLED照明器具の設置費助成【追加】

対象設備	・集合住宅の共用部 ・ <u>既存のLED以外</u> の照明器具→ <u>新品のLED照明器具</u> への交換
対象者	・個人または管理組合
金額及び上限額	・実支出経費の <u>2分の1</u> ・上限 <u>100万円</u>



「東京都マンション省エネ・再エネガイドブック」より

【28】 文の京環境啓発加速化事業

予算額 5,661千円

区民や区内事業者にアプローチできるよう、環境行政事業の啓発活動を強化し、脱炭素への理解を深めて具体的な行動を促進します。

	活動内容
①環境関連イベントの拡充	区内大学や事業者等の出展を増やすなど、事業の魅力を高める
②その他のイベントへの出展	「Bunkyo Sports Park」や「子育てフェスティバル」など幅広くイベントに出展し、環境行政の認知向上を図る
③他団体が主催するイベントへの出展	区内の大学や地域のお祭り・イベントに出展し、脱炭素について知ってもらう機会を増やす



関心が薄い層への
接点増

脱炭素に向かって加速化！

環境政策課 橋本 03-5803-1259

【29】 区有施設への再生可能エネルギー電力の導入

予算額 22千円

CO₂排出量を削減するため、区有施設の供給電力を再生可能エネルギー電力メニューに順次切替え、2030年までにゼロカーボンオフィスを目指します。

<<2023(令和5)年度実績>>

再生可能エネルギー電力導入施設

使用量：21,068,573kWh (68%)

【再エネ電力】

- シビックセンター
- 区立保育園(2園)

+

【再エネ電力(ごみ発電)】

- 区立保育園(2園)
- 清掃事務所
- 区立小・中学校 等

順次切替え

優先度

- 〔高〕 区に電力契約権限のある施設
- 〔低〕 指定管理者制度導入施設

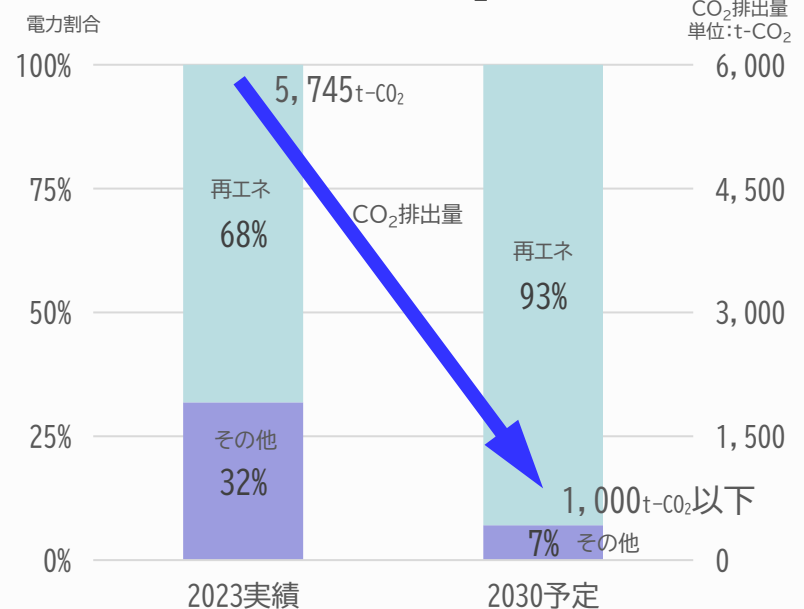
対象外

- ・現在の電力供給条件に合う再生可能エネルギー電力メニューがない場合(例：定額電灯)
- ・区(指定管理者含む)に電力契約権限がない場合 等

その他電力使用施設

使用量：9,853,512kWh (32%)

再生可能エネルギー電力の割合及び電力使用に伴うCO₂排出量



【30】 プラスチック分別回収事業

予算額 483,694千円

ごみの減量化と資源循環型社会の実現を目指すため、区内全域でのプラスチック分別回収を行います。

また、外国人に対する指導・啓発のため、AI通訳機を導入します。

回収するプラスチック

プラスチック製容器包装
(プラマーク  が付いているもの)



プラスチック製品
(一辺の長さが30cm未満で全てプラスチックでできているもの)



事業内容

①プラスチックの回収日を新たに1日設け、業務委託により回収し、中間処理施設へ運搬

②中間処理施設で選別し、バール化

③バールを資源化施設に運搬し、リサイクル

リサイクル清掃課 有坂 03-5803-1135

【31】「ぶんきょう涼み処」へのボトルディスペンサー型水飲栓の設置事業

予算額 3,764千円

「ぶんきょう涼み処」を開設した施設に、ボトルディスペンサー型水飲栓を通年で設置します。



ボトルディスペンサー型水飲栓
(今回設置予定のものはお湯が出ないタイプとなります)

脱プラスチックの推進



熱中症対策

リサイクル清掃課 有坂 03-5803-1135

その他主要課題の解決に つながる施策

多様な行政需要を的確に捉え、様々な手法を活用しながら、持続可能な都市を形成するための施策

レベルアップ

文京区DX推進プロジェクト

総合的な自転車対策のDX化推進事業

終戦80周年記念事業

～被爆の実相を資料とデジタルで伝える～

継 続

ICT化の推進による図書館利用者の利便性向上
～区立図書館の「学びの拠点」向上プロジェクト～



【32】 文京区DX推進プロジェクト

予算額 88,542千円

デジタル社会の実現のため、住民に身近な行政を担う基礎自治体として、「①フロントヤード改革」、「②業務改革(BPR)の取組」、「③DX推進に必要な環境・仕組みづくり」、「④DX人材の育成」を重点項目として、自治体DXを推進します。

①フロントヤード改革

- 書かない窓口の取組やオンラインでの口座振替申請の受付など、区民との接点となるフロントヤード改革に取り組み、利便性の向上を図ります。

②業務改革(BPR)の取組

- 登録したデータから文章を生成できるよう、文章生成AIの機能を拡充し、迅速な問い合わせ対応や検索業務の効率化を図ります。
- 職員が自らアプリを作成できるノーコードツール等を導入し、さらなる業務の効率化やペーパーレス化を推進します。

③DX推進に必要な環境・仕組みづくり

- 安全で快適にデジタル社会の便利さを感じられるよう、Open Roamingに対応した公衆Wi-Fi基盤を構築し、セキュアでシームレスな通信環境を整えます。

④DX人材の育成・活用

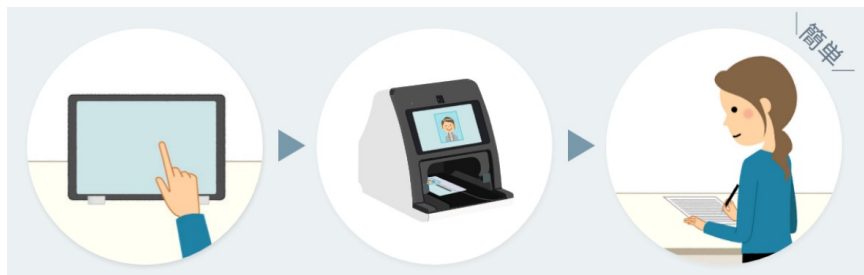
- DXを推進するため、新たに意識改革研修を実施し、変革マインドの醸成を図ります。
- DX推進の専門的な支援や助言を受けるため、外部のデジタル人材を文京区DX推進アドバイザーに任命します。

※本事業の詳細は、別紙詳細資料をご参照ください。なお、個別の重点施策となっている事業は、本事業の経費には含まれません。

【32】 文京区DX推進プロジェクト(主な実施事業)

【①フロントヤード改革】 書かない窓口の推進

予算額 1,054千円



タブレットで
必要な申請書
を選択

本人確認書類の
読み取りを実施

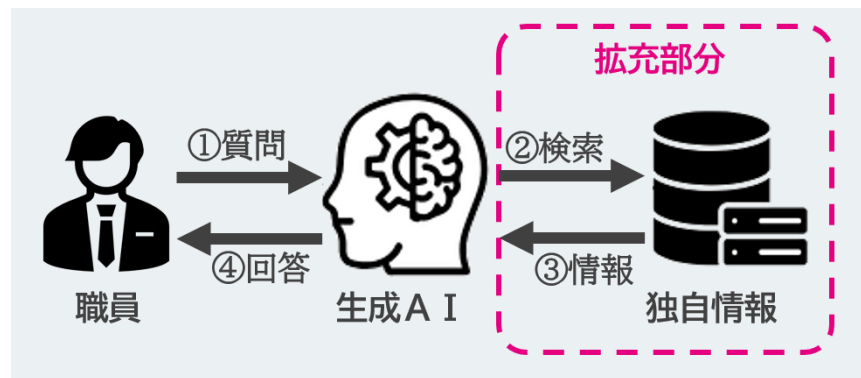
個人情報が記載
済みの申請書が
印刷されます！

- マイナンバーカードなどの本人確認書類から基本4情報を読み取り、申請書に自動転記する機器を導入し、書かない窓口を推進します。
- わかりやすい画面設計や手軽な操作性により、パソコンやスマートフォンの操作が苦手な方でも利用し易い窓口環境を目指します。

イラスト出典元:<https://www.pfu.ricoh.com/caora/application/>

【②業務改革(BPR)の取組】 文章生成AI利用の拡充

予算額 2,299千円



※独自情報は、マニュアルや過去の事例、事業の資料など、検索対象にする業務文書を登録します。

- 登録した独自情報から回答を生成するため、
 - ・会計マニュアルを登録した問い合わせボット
 - ・過去の事例や回答を登録した検索用ボット
 - ・PC等の使い方を登録したヘルプデスクボットなど、特定の事務に特化した回答の生成が可能となり、さらなる業務の効率化を図ります。

【33】 総合的な自転車対策のDX化推進事業

予算額 159,271千円

自転車駐車場及び放置自転車の管理システムを新たに導入し、自転車対策業務及び住民サービスのDX化を推進します

	現行	新システム導入後
自転車駐車場 (定期利用)	【一斉募集】 電子申請の後に証明書類を紙で提出	【一斉募集、随時募集】 スマホ・PCから申請し、一連の手続きが完結
	【随時募集】 紙による申請のみ	
	【使用料】納付書による現金払	【使用料】電子決済
放置自転車	放置自転車の保管及び返還データを管理	放置自転車の発見、撤去、保管及び返還の一連のデータをリアルタイムで管理



※新システム導入により、時間・日単位の実績データがリアルタイムかつ自動で集積され、施策の検討に利用可能

【34】 終戦80周年記念事業 ～被爆の実相を資料とデジタルで伝える～

予算額 3,927千円

参加者が戦争の悲惨さや被災状況を、よりリアルに体験できるように、東京大学大学院情報学環の渡邊英徳研究室の協力を得て、デジタル技術を活用したコンテンツや資料による、終戦80周年記念事業を実施します。

これまでの取組

戦災・原爆資料展、映画会、巡回写真展

被爆体験者講話、吉永小百合さんによる原爆詩の朗読会、平和特派員事業、被爆樹木の植樹 等



事業内容(レベルアップ)

(1) デジタルツイン・VRなどのテクノロジーを活用した平和コンテンツの展示

(2) 平和教育ツールを使い、子どもたちが参加する平和な世界を考えるワークショップの実施

(3) 教育版マイクラフトを活用した長崎の歴史に関する平和学習の実施

※その他、被爆体験者講話等を実施予定



総務課 武藤 03-5803-1139

(1)文京区児童相談所

予算額 1,189,111千円

児童虐待に迅速かつ的確に対応し、より高度で専門性の高い相談支援を実現するため、区児童相談所を開設します。



児童相談所開設準備室 佐藤
03-3811-5211

(2)元町ウェルネスパーク

予算額 318,237千円

旧元町小学校と元町公園との一体的活用事業として、旧元町小学校跡地に公共機能と民間機能の複合施設である「元町ウェルネスパーク」を開設します。



広報課 日比谷
03-5803-1891